

ESMPRO®/AC Advance Ver5.5

セットアップカード

Express5800 シリーズ

UL1046-906

第1章製品格

第2章セットアップの準備

第3章セットアップの方法

第4章 AMC 機能

第5章スケジュール運动設定

第6章 ジョブの登録方法

第7章障害発生時には

第8章注意事項

第9章用4

第7版 2023年7月

© NEC Corporation 2023



このたびはESMPRO/ACAdvance Ver5.5をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。 ESMPRO/ACAdvance Ver5.5をお使いになる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標です。

CLUSTERPRO、ESMPROは、日本電気株式会社の登録商標です。

Smart-UPS、PowerChute、APC は、Schneider Electric Industries SAS またはその関連会社の登録商標または商標です。

その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

更新履歴

版数	更新日付	要和確
第1版	2022/04/25	新規作成
第2版	2022/10/31	「3.1 ESMPRO/Advanceのインストール」の記載変更
		「3.1.1 新規インストールの場合」「3.1.2 上書きインストールの場 合」「3.1.3 バージョンアップインストールの場合」の項目追加
第3版	2022/12/28	サポート OS を更新
第4版	2023/02/09	対象機種を更新 「3.2 ESMPRO Platform Management Kit からのインストール」の注意を更新 切断時に実施するジョブの説明を更新 「6.2.3.1 切断時に登録ジョブを起動するジョブの登録方法」
第5版	2023/02/13	「2.1 ESMPRO/Advance のセットアップ環境」「<ハードウェア>」に「動作環境一覧」 情報を追加
第6版	2023/03/31	保守バンドル製品の型番を削除
第7版	2023/07/31	「7.1 マルチサーノ構成でのログ採取方法」で手動でのログ採取時の取得パスの記載を修正

目次

第1章 製品內容	5
第2章セットアップの準備	6
2.1 ESMPRO/AC Advanceのセットアップ環境	6
2.2 ESMPRO/AC Advance の構成例	8
第3章セットアップの方法	9
3.1 ESMPRO/ACAdvance のインストール	9
3.1.1 新規インストールの場合	10
3.1.2 上書きインストールの場合	14
3.1.3 バージョンアップインストールの場合	18
3.2 ESMPRO Platform Management Kit からのインストール	
3.3 ESMPRO/AC Advance のアンインストール	23
第4章 AMC 機能	27
4.1 AMC 機能を使用するためのセットアップ	
4.2 マルチサーノ構成の運用例	
第5章 スケジュール運転の設定	37
5.1 制御端末のスケジュール設定	
5.2 連動端末のスケジュール設定	42
5.2.1 Windows 連動端末への直接定	43
5.2.2 Windows 連動端末へ設定ファイルを送信	47
第6章 ジョブの登録方法	51
6.1 制御端末のジョブの設定	
6.2 連動端末のジョブの設定	
6.2.1 ジョブ登録画面の起動方法	52
6.2.2 電源投入時のジョブ登録方法	54
6.2.3 電源切断時のジョブ登録方法	57
6.2.4 ジョブ登録の保存	61
第7章 障害発生時には	62
7.1 マルチサーノ構成でのログ採取方法	63
第8章注意事項	67
8.1 セットアップ関連	67
8.2 運用時ごおける注意	67
第9章用語集	69

第1章 製品内容

ESMPRO/AC Advance Ver5.5のパッケージの内容は、製品に同梱されている構成品表に記載されています。 添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance はESMPRO/AutomaticRunningControllerのオプション製品です。ESMPRO/AC Advance Ver5.5 をご使用になるためには、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.5 もあわせてセットアップが必要です。

2.1 ESMPRO/AC Advance のセットアップ環境

ESMPRO/ACAdvanceをセットアップするためには、次の環境が必要です。

ハードウェア

 対象機種
 Express5800シリーズ
 DELL PowerEdge R750/R750xs/R650/R650xs/R550/R450
 最新の対応HWV 状況は、以下をご参照ください。

<u>https://jpn.nec.com/esmpro_ac/</u>
→ 動/任環境

→ 動作環境一覧

・メモリ

:14.0MB以上

ESMPRO/AutomaticRunningController

と合計すると 37.0MB以上

・固定ディスクの空き容量 : 40.0MB以上

ESMPRO/AutomaticRunningController

と合計すると 100.0MB以上

・HW/BIOS機能(*) :制御端末のリモート起動、リモートシャットダウンを 利用する場合は、WOL(Wake On LAN)機能 を実装しているサーバOSのシャットダウンで、電源OFFが可能なサーバ

(*)

機動こよっては、Wake On LAN機能が提供されていない場合があります。機能が提供されていない 機動ま、BIOSI こWake On LANの設定メニューがないため、Wake On LAN機能を有効にすることが できません。そのため、リモート起動を含め自動運転の起動機能は実現できません。 これらの機衝す、リモート起動を含め自動運転の起動機能は実現できません。また、スタートメ ニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFF されないサーバでは、自動運転の 停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。この場合には、その後の自動起動も出来ません。 これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存するため、導入の際には、あらかじめ使用す るサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

(同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合もあります。)

② ソフトウェア

Windows Server 2022 Standard/Datacenter/Essentials Windows Server 2019 Standard/Datacenter/Essentials Windows Server 2016 Standard/Datacenter/Essentials Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter Windows Server 2012 Standard/Datacenter Windows 11 Pro Windows 10 Pro

最新の対応OS 状況よ、以下をご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/

→ 動作環境 → 対応OS一覧

*AMC(AC Management Console)機能によりマルチサーバ構成で制御される運動端末(非制御端末) には、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがセットアップされている必要があります。

ESMPRO/AutomaticRunningControllerおよび各オプションパッケージ製品のアップデートを下記サイトに公開しています。未適用のアップデートがございましたら、ダウンロードし適用してください。

https://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx

→ 修正物件ダウンロード

→ 製品名・カテゴリから探す

 \rightarrow ESMPRO/AutomaticRunningController

ESMPRO/ACIこて仮想マシンの順序シャットダウン/順字起動を行う場合は、下記資料をご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/

→ ダウンロード

→ 各種資料

→ 仮想マシン順字設定マニュアル

ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/ServerManager Ver. 7.12と連携する場合は、ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/AC Advance またはESMPRO/AC Advance Ver5.5を組み合わせてご利用願います。

ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/AC Advance をインストールした場合、ライセンスキーの登録を行うことなく ESMPRO/AC Advance をインストールすることが可能ですが、ライセンスキーを登録しない場合、ソフトウェア動作は無停電電源装置(UPS)の管理のみに制限されます。無停電電源装置(UPS)の管理以外の機能を使う場合には、以下のライセンスキーをご購入の上で、ライセンスキーの登録をお願いします。

UL1046-906

2.2 ESMPRO/AC Advance の構成例



図 2.2-1

第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPRO/AC Advance のインストール

Administrator もしくはAdministrator 権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに 『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.5』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

IESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.5』はアンインストール時にも必要になりますので、大切に保管願います。

<u>注意</u>

 ESMPRO/AutomaticRunningControllerのHPより最新のパッチ/修正モジュールを確認し、最新のアップデートを 適用願います。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/update.html?

- ・ 上位バージョンがインストールされている場合は、インストールは行えません。エラーとなります。
- ・ CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、IESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.5』の内容で iso イメージファイルを作成しマウントしてインストールを行ってください。
- ESMPRO/AC Advance Ver5.5 は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.5 がインストールされたサーバ上での み動作します。ESMPRO/AC Advance Ver5.5 をインストールする場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.5 をインストールするソフトウェアに追加してください。
- ・ 他のオプション製品をインストールする場合は、Setupac.exe からインストール作業を続行してください。インストール後よ、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。
- ・ 上書きインストール、バージョンアップインストールでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に「終了」および「キャンセル」ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで「終了」ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除お行われませんのでご注意ください。

3.1.1 新規インストールの場合

(1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

◎ インストール	0 72-	インストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。				
お、インストール済に表示されている情報は以下のとおり	です。			
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インストー) ×…未インストール	ルされているバージョンを	併記〉		
サーバ系製品群(クライアント系製品)				
「ニハ糸裂回母 クライアント糸製品				
アニハ未設math クライアント糸製品 製品名	バージョン	インストール済		
アニハ未製品は(クライアント系製品) 製品名 ■ESMPRO/AutomaticRunningController	バージョン 5.5	インストール済 〇(5.5)		
アーハ未製品は「クライアント系製品」 製品名 ■IESMPRO/Automatic RunningController ■ESMPRO/AC Enterprise	バージョン 5.5 5.5	インストール済 〇(5.5) ×		
アーハ未製品は「クライアント系製品」 製品名 ■IESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオポション	バージョン 5.5 5.5 5.5 5.5	インストール済 <u>〇(5.5)</u> × × ×		
アーハ未製品は「クライアント系製品」 製品名 ■ESMPRO/Automatic RunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブショ	バージョン 5.5 5.5 5.5 5.5 aン 5.5	インストール済 <u>〇(5.5)</u> × × × × ×		
アーハ未製品は 製品名 ■ESMPRO/Automatic RunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	バージョン 5.5 5.5 5.5 5.5 3ン 5.5 2 5.5	インストール済 <u>〇(5.5)</u> × × × × × ×		

図 3.1-1

(2) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

	トアップ		×	
-動作を選択 ● インストール	0 72-	インストール		
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。			
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ ×…未インストール	れているバージョンを	併記〉		
サーバ系製品群(クライアント系製品)				
	バージョン	インストール済		
ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise	5.5 5.5	(5.5) ×		
ESMPRO/AC Advance	5.5	X		
LESMPRO/AC MSCSオブジョン DESMPRO/AC Enterprise フルギサーバオゴション	5.5 5.5	×		
□ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.5	×		
実行		終了		

図 3.1-2

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/	/AutomaticRunningController セットアップ	×
?	以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか?	
<サーバ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver5.5		
	はい(Y) いいえ(N)	

図 3.1-3

(5) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを 選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ >	<
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力し てください。 ESMPRO/AC Advance Ver5.5	
OK キャンセル	

図 3.1-4

- (6) ファイルの転送が閉始されます。
- (7) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



図 3.1-5

(8) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance のインストール済欄にOおよびバージョンが表示されていることを確認 します。

	'ットアップ	×		
ー動作を選択 ・ インストール	0 7V-	シストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済		
■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオブション ■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプショ ■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	$\begin{array}{c} \bigcirc (5.5) \\ \times \\ \bigcirc (5.5) \\ \times \\ \times \\ \times \\ \times \end{array}$		
実行		終了		

図 3.1-6

3.1.2 上書きインストールの場合

(1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

	トアップ		\times
動作を選択			
• 17Xr=1/	U 7.	7777F710	
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくだ	さい。	
なお、イソストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。		
○…同じバージョンの製品がイソストール済 ム…異なるバージョンの製品がイソストール済(イソストールさ ×…未イソストール	れているバージョンを	ど併記)	
サーバ系製品群(クライアント系製品)			
製品名	バージョン	インストール済	
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.5	○(5.5)	
ESMPRO/AC Enterprise	5.5 5.5	× O(5.5)	
ESMPRO/AC MSCSオブション	5.5	×	
□ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション □ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブション	5.5 5.5	× ×	
実行		終了	

図 3.1-7

(2) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

p ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品	iセットアップ			
-動作を選択	0 アン-	インストール		
なお、インストール剤に表示されている情報は以下のとお	りです。			
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…男なる」バージョンの製品がインストール済	- ルオわ アレンス バー・ジョン ボイ	₩≡⊐∖		
△…其なのハーションの要品がリントールす(リント ×…未行ントール	-Went (1 1971 - 29/21	#6C/		
サーバ系製品群(クライアント系製品)				
製品名	バージョン	インストール済		
製品名 I ESMPRO/AutomaticRunningController	バージョン 5.5	インストール済 〇(5.5)		
製品名 I ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance	バージョン 5.5 5.5 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5)		
製品名 I ESMPRO/AutomaticRunningController I ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance I ESMPRO/AC MSCSオプション	バージョン 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5) ×		
製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブシ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブシ	バージョン 5.5 5.5 5.5 1.5 1.5 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5) × × × ×		
製品名 ■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオブション ■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプショ ■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプショ	バージョン 5.5 5.5 5.5 10 5.5 12 5.5 12 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5) × × × × ×		
製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブショ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブショ	バージョン 5.5 5.5 5.5 10 5.5 10 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5) × × × ×		
製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプショ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプショ	バージョン 5.5 5.5 5.5 12 5.5 12 5.5 12 5.5	インストール済 〇(5.5) × 〇(5.5) × × × ×		
製品名 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise MESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオブション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブショ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオブショ	バージョン 5.5 5.5 5.5 5.5 12 5.5 12 5.5	インストール済 ○(5.5) × ○(5.5) × × × × ×		

図 3.1-8

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップ	×
以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか? <サーバ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver5.5	
はい(Y) いいえ(N)	

図 3.1-9

(5) ESMPRO/AC Advanceのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示されます。 インストールを継続する場合は「はい」を選択します。



図 3.1-10

- (6) ファイルの転送が開始されます。
- (7) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



図 3.1-11

(8) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance のインストール済欄にOおよびバージョンが表示されていることを確認 します。

֎ ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セ	ットアップ	×		
ー動作を選択 の インストール	C 72-	シストール		
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、チェックをつけてください。 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群 クライアント系製品 製品名	バージョン	インストール済		
■ESMPRO/AutomaticRunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオプション ■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	○(5.5) × ○(5.5) × × ×		
実行		終了		

図 3.1-12

3.1.3 バージョンアップインストールの場合

(1) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

参 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セッ	トアップ	×		
- 動作を選択				
◎ インストール	072	インストール		
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー				
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで	す。			
○…同じバージョンの製品がインストール済 △…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール				
サーバ系製品群(クライアント系製品)				
製品名	バージョン	インストール済		
ESMPRO/Automatic RunningController	5.5	○(5.5)		
ESMPRO/AC Enterprise	5.5 5.5	× ∆(5.4)		
ESMPRO/AC MSCSオプション	5.5	×		
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオブション	5.5	×		
	0.0	×		
実行		終了		

図 3.1-13

異なるバージョンの製品がインストールされている場合、インストール済の欄こ△(バージョン)が表示されています。

下位、デジョン(Ver5.0以上)からの、デジョンアップインストールを実施される場合は、通常のインストールと同様に行ってください。その際、設定内容はそのまま引き継がれます。

(2) 「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Advanceを選択し、チェックを有効にします。

🍻 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セッ	ットアップ	
動作を選択 ・ インストール	0 アン·	インストール
└ インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	、チェックをつけてくださ	L 10
なお、インストール剤に表示されている情報は以下のとおりで	रे न े	
〇…同じバージョンの製品がイソストール済 ム…異なるバージョンの製品がイソストール済(イソストールされているバージョンを併記) ×…未イソストール		
サーバ系製品群(クライアント系製品)		
製品名	バージョン	インストール済
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.5	O(5.5)
SMPRO/AC Advance	5.5	△(5.4)
□ESMPRO/AC MSCSオブション	5.5	X
LESMPRU/AC Enterprise マルチサーバオブション	2 0.0 5.5	×

図 3.1-14

- (3) 「実行」ボタンを選択します。
- (4) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO,	/AutomaticRunningController セットアップ	×
?	以下製品のインストール処理を行います。 よろしいでしょうか?	
	<サーパ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver5.5	
	はい(Y) いいえ(N)	

図 3.1-15

(5) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスキーを入力し、「OK」ボタンを 選択します。

ESMPRO/AC関連製品セットアップ	Х
次の製品のソフトウェアライセンスキーに記載されているライセンスキーを入力 てください。	U
OK キャンセル	

図 3.1-16

(6) ESMPRO/AC Advanceのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示されます。 インストールを継続する場合は「はい」を選択します。

質問	×	<
?	既にESMPRO/AC Advance Ver.5.41がインストールされています。 上書きしますか?	
	はい(Y) いいえ(N)	

図 3.1-17

- (7) ファイルの転送が開始されます。
- (8) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Advance のインストール済欄にOおよびバージョンが表示されていることを確認 します。

後 ESMPRO/AutomaticRunningController関連製品セッ	ットアップ	×
ー動作を選択 ● インストール	C 72-	シストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、 なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりで 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストール。 ×…未インストール	、チェックをつけてくださ す。 対れているバージョンを(和記)
サーバ系製品群 クライアント系製品 単品名	バー・ジョン	インストール溶
■ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance ESMPRO/AC MSCSオプション ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	○(5.5) × ○(5.5) × × × ×
実行		終了

図 3.1-19

3.2 ESMPRO Platform Management Kit からのインストール

「ESMPRO Platform Management Kit」より「ESMPRO/AC Advance Ver5.5」をインストールされる場合は 「ESMPRO インストールツール ユーザーズガイド」を参照願います。

<u>注意</u>

- (1) ライセンスキーの登録を行わない場合、ソフトウェア動作は無停電電源装置(UPS)の管理のみに制限されます。旧 バージョンよりのアップデートインストールを行い、ライセンス適用を行わない場合、アップデート前の動作と同じ にならないため、システム運用に問題が発生する可能性があります。アップデートインストールを行う場合は、アッ プデート完了後に新しいライセンスの適用を行ってからの運用を強く推奨します。
- (2) 「ESMPRO Platform Management Kit Version 1.003.01」以降の「ESMPRO インストールツール」「統合インストール」で、ライセンス適用済みの ESMPRO/AC Advance 環境に対してアップデートインストールを行うことはできません。項目(1)の注意をお読みの上、「各種アプリケーション」よりアップデートインストールを行ってください。
- (3) 「ESMPRO Platform Management Kit Version 1.004.01」で【アップデート対象製品】をインストールした場合は、 インストール後にインストールイメージの【アップデート格納ディレクトリ】中の 『ESMARC55-01-230209.zip』を適用願います。ZIP ファイルを解東し、ファイル解東後の README.TXT にアップ デート適用方法の詳細が記載されていますので、参照してください。

【アップデート対象製品】 ESMPRO/AutomaticRunningController ESMPRO/AC Enterprise ESMPRO/AC Advance

【アップデート格納ディレクトリ】 「software¥999¥win¥esmpro_arc¥update」

3.3 ESMPRO/AC Advance のアンインストール

<u>注意</u>

- ESMPRO Platform Management Kit よりアンインストールを実行する場合は、インストールイメージの以下のディレクトリより『Setupac.exe』を起動してください。
 「software¥999¥win¥esmpro_arc¥cd」
- ・CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、IESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.5』の内容で iso イメージファイルを作成しマウントしてインストールを行ってください。
- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンします。 ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.5』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの [Setupac.exe] を起動します。

	トアップ	×	
●動作を選択	ر <u>ب</u> ۲	インフトール	
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、	チェックをつけてくださ	\$1.10	
なお、インストール済に表示されている情報は以下のとおりです。 〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) >…まではなった			
サーバ系製品群(クライアント系製品)			
製品名	バージョン	インストール済	
■ESMPRO/Automatic RunningController ■ESMPRO/AC Enterprise ■ESMPRO/AC Advance ■ESMPRO/AC MSCSオプション ■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ■ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	\bigcirc (5.5) \times \bigcirc (5.5) \times \times \times \times	
実行		終了	

🗵 3.3-1

(3) 「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/ACAdvanceを選択し、チェックを有効にします。

	~アップ	×
●動作を選択 ○ インストール	アン・	ロストール
インストール/アンインストールを実施する製品を選択し、 なお、インストール剤に表示されている情報は以下のとおりです O…同じバージョンの製品がインストール済 A…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールさ ×・・・未インストール	チェックをつけてくだき す。 れているバージョンをf	い。 并記)
997727末製品 製品名	バージョン	インストール済
■ ESMPRO/AutomaticRunningController ■ ESMPRO/AC Enterprise ■ ESMPRO/AC Advance ■ ESMPRO/AC MSCSオラション ■ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション ■ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	5.5 5.5 5.5 5.5 5.5 5.5	○(5.5) × ○(5.5) × × × ×
実行		終了

図 3.3-2

- (4) 「実行」ボタンを選択します。
- (5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

ESMPRO/	/AutomaticRunningController セットアップ 🛛 🗙
?	以下製品のアンインストール処理を行います。 よろしいでしょうか?
	<サーバ系製品> ESMPRO/AC Advance Ver5.5
	(はい(Y) いいえ(N)

図 3.3-3

(6) インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



図 3.3-4

- (7) ファイルの削除が行われます。
- (8) 次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。



図 3.3-5

(9) 最初の画面に戻り、ESMPRO/ACAdvanceのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。

移 ESMPRO/AutomaticRunningController関連	自製品セットアップ	×	
┌─動作を選択			
○ インストール	© 771	ンストール	
ー インストール/アンインストールを実施する製品;	を選択し、チェックをつけてくださし	1 ₀	
なお、インストール剤に表示されている情報は以下の	Dとおりです。		
〇…同じバージョンの製品がインストール済 ム…異なるバージョンの製品がインストール済(インストールされているバージョンを併記) ×…未インストール			
サーバ系製品群(クライアント系製品)			
製品名	バージョン	インストール済	
ESMPRO/AutomaticRunningController	5.5	○(5.5)	
ESMPRO/AC Enterprise	5.5	X	
ESMPRO/AC Advance	5.5	X	
■ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバス	オープネションン 5.5	Ŷ	
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオ	プション 5.5	×	
1			
		47	
关门	1	<u>[]</u>	

図 3.3-6

(10) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

第4章 AMC 機能

ESMPRO/AC Advance では、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされたサーバの統合管理 を実現させるため、AMC(AC Management Console)機能を搭載しています。

<u>注意:</u>

製品ライセンス適用が行われていない場合、AMCは無停電電源装置(UPS)の管理に関連する設定のみに制限されます。

(制限項目)

・4.1 AMC機能を使用するためのセットアップ

「ESMPRO_AC環境ウィザード」は起動できません。

pspacenv	×	
	ESMPRO/AC環境ウィザードをご利用になるには本製品のライセンス登録が 必要です	
	(COK	

🗵 3.3-1

・4.2 マルチサーバ構成の運用例

→運動端末の新規登録および編集はできません。

4.1 AMC 機能を使用するためのセットアップ

[スタート]ー[ESMPRO_AutomaticRunningController]から「ESMPRO_AC 環境ウィザード」を起動し、「環境設定ウィザード」を選択します。



図 4.1-1

"UPS を使用せずに自動運転を行う"を選択し、「次へ(N>」ボタンを押します。

環境設定ウィザード STEP3		Х
自動運転モード		
	< 戻る(<u>B</u>) 完了 キャンセル	

図 4.1-2

「完了」ボタンを選択すると、以下のようなメッセージが表示されます。



図 4.1-3

「はい(Y)」を選択すると、AMCの起動を確認するダイアログが表示されます。



図 4.1-4

AMC を起動します。

「編集」メニューから「電源制御グループ作成」を選択し、グループ名を入力します。

※ 「電源装置」、「連携置」、「制御端末」、「連動端末」は予約された文字列です。

グループ名を登録する際には、これらの予約された文字列と完全一致する文字列を指定しないでください。

また、登録済のサーバ名、UPS名称、グループ名と同一の文字列も使用しないでください。



図 4.1-5

作成したグループ配下のアイコンをクリックすると、グループポリシーの入力画面が表示されます。制御端末が複数台のときは制御端末に届くローカルブロードキャストアドレスを入力します。制御端末が1台のみのときは ESMPRO/ACAdvance をインストールした制御端末のIP アドレスを入力します。

グループポリシー	×
この電源系統の共通管理情報を登録・編集します 名称 ADAVANCE構成 説明	OK キャンセル
通信用認識コード ESMACnet (15文字までのユニークなコード) 通信用 IP address 172.16.1.255 通信用 IP address 通信用 IP address 制御端末に届く 「ローカルブロードキャストアドレス」か、 「制御端末の IP address」(制御が1台の場合のみ) を登録してください 続計情報採取間隔 1 Min	SNMP コミュニティ名 public SNMP通信異常確認時間 50 Sec 停電中のSNMP通信異常で 接続されたサーバの制御 0: そのまま運用 1: shutdown 0 0 1: shutdown 0 1 二 制御端末の停電シャットダウン時に 運動端末をシャットダウンする 1

図 4.1-6

次に、ツリー上の「制御端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選択します。

🔒 AC N	lanag	gement Console - ESMPF	RO/AC							- 1		×
7ァイル(F)	編集	(E) 操作(S) 表示(V)	∿⊮7 [°] (H)									
		電源制御グループ作成										
🖃 🗄 🖁 ne		電源制御グループポリシー	·登録	IP address	コンセントク ルーフ	説明	状態	in[V]	変動範囲[V]	out[V]	out[充電
⊨ B ¢		連動装置のグループ追加										
		新規装置登録										
Ē		登録情報編集										
		登録情報削除										
	- D-C	連動装置										
			<									>
										N	JM	

図 4.1-7

「制御端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、制御端末(サーバ)の「静を入力します。

制御端末をリモート起動する場合は、Advance option mode のチェックを有効にし、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート起動用 ネットマスクを入力します。MAC address は、コマンドプロンプトから "ipconfig /all" と入力し、出力結果に表示されている物理アドレス (OS により Physical Address と表示されます)を入力 します。

リモート起動用 MAC address にはWOL 機能が有効なLAN ポートのMAC アドレスを入力します。

※ AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)によるチーミング設定による仮想 MAC の設定を行っている場合、いずれかの物理がな MAC アドレスを登録する必要があります。物理 MAC アドレスと異なるユニークな MAC アドレスを割り当てた場合、Wake On LAN による運用は行えません。

この操作を繰り返すことにより、複数の制御端末(サーバ)を登録することができます。

制御端末(サーバ)	×
雷酒制御友行	うせーバを登録します	
电水中小时公司		
サーバ種別	Windowsサーバ	
名称	R110I2 (コンピュータ名: 15文字まで。 Linuxの場合は大/小文字を区別する必要あり)	
	▼ コンピュータ名を大文字に自動変換する。	
	□ 仮想マシンの順序制御を行う。 仮想マシン順序設定	
	▶ 仮想マシンを自動起動する。	
IP address	172.16.1.193	
記印	AC+AC Advance	
	, 	
FOV:++. 1	クラリザ設定	
「ころバリーハ」		
-111	Linuxの場合は大/小文字を区別する必要のり)	
ドメイン	(ドメイン名を登録。例:example.com)	
IP address		
ユーザ名	(対象サーバに接続可能なユ ーザ名、バスワード)	
パスワード	サーバへの接続確認	
🔽 Advance	e option mode	
リモート	▶起動用 MAC address 00-00-00-00-00	
リモート	ト起動用 IP address 172.16.1.193	
リモート	ト起動用 ネットマスク 255.255.255.0	
	ОК + +ути	

図 4.1-8

次に、ツリー上の「連邦端末」にカーソルを当て、「編集」メニューから「新規装置登録」を選択します。

AC N	Mana	gement Console - ESMPF	RO/AC							- 1		×
7ァイル(F)	編集	[(E) 操作(S) 表示(V)	∿⊮7 [°] (H)									
		電源制御グループ作成										
⊡- <mark>84</mark> 3 n	e	電源制御グループポリシー	·登録	IP address	コンセントク ルーフ	説明	状態	in[V]	変動範囲[V]	out[V]	out[充電
<u> </u>		連動装置のグループ追加										
		新規装置登録										
ļ		登録情報編集										
		登録情報削除										
	843 1	————————————————————————————————————										
			<									>
										N	JM	

図 4.1-9

「連動端末(サーバ)」の入力画面が表示されますので、ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションがインストールされた運動端末(サーバ)の情報を入力します。

Advance option mode のチェックを有効にし、リモート起動用 MAC address、リモート起動用 IP address、リモート 起動用 ネットマスクを入力します。運動端末の MAC address は、運動端末にてコマンドプロンプトから"ipconfig /al" と入力し、出力結果に表示されている物理アドレス (OS により Physical Address と表示されます)を入力します。 リモート起動用 MAC address にはWOL 機能が有効な LAN ポートの MAC アドレスを入力します。

- ※更加端末(サーバ)の起動は、制御端末から Wake On LAN パケットを受信して行われます。この際、制御端末 から連動端末への Wake On LAN パケットは、ブロードキャスト・アドレス宛に送信されます。このため、制御 端末の監視対象となる連動端末は、制御端末と同じネットワークセグメントで構築されている必要があります。
- ※AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)によるチーミング設定による仮想 MAC の設定を行っている場合、いず れかの物理がなMAC アドレスを登録する必要があります。物理MAC アドレスと異なるユニークな MAC アドレ スを割り当てた場合、Wake On LAN による運用は行えません。

連動端末 (サーバ)	×
制御端末により、電源制御されるサーバを登録します。	
■ SSC管理対象サーバ	
サーバ種別 Windowsサーバ	vCS/vCSA情報登録
名称 R11012A (コンピュータ名: 15文字まで。 Linuxの場合は大/小文字を反	(別する必要あり)
▶ コンビュータ名を大文字に自動変換する。	
□ 仮想マシンの順序制御を行う。	仮想マシン順序設定
クラスタ識別名(ClusterID	
ドメイン	表。例: example.com)
IP address 172.16.1.198	ネットワーク情報取得
ユーザ名 (対象サーバル) パスワード)	渡 続可能なユーザ名、
パスワード	サーバへの接続確認
説明 Advanceマルチサーバオプション	
	ブラウザ設定
シャットダウン開始待ち合わせ時間	U Sec
	轰昭(S)
Advance option mode	
電源ON lo Remote Wake Up C SSC	
リモート起動用 MAC address 00 00 00 00 00 00 00	
リモート起動用 IP address 172.16.1.198	
リモート起動用 ネットマスク 255.255.255.0	
OK \$5'751.	1

図 4.1-10

4.2 マルチサーバ構成の運用例

AMC では、制御端末にESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ、連動端末にESMPRO/AC Advance マルチサーバ プジョンがインストールされた端末を登録します。

(1) 制御沫1台、連端末1台の場合



図 4.2-1



自動
難
サーバ:
連
が
滞
末

図 4.2-2

(2) 制御沫1台、連城末2台の場合





自動
難サーバ: 連脚
抹



図 4.2-3

(3) 制御端末2台、連城末2台の場合



図 4.2-4



ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション

図 4.2-5

第5章 スケジュール運転の設定

5.1 制御端末のスケジュール設定

制御端末のスケジュール登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を行う必要があります。

以下を例こ、スケジュール運動の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、23時00分にリブート。 ②土日祝は、運用しない。

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので「スケジュール」 ボタンを選択してください。

ESMPRO/AutomaticRunningController —							
設定(<u>C</u>) ヘルブ(<u>H</u>)							
サーバ(<u>S</u>)		→UPS					
サー ¹ [*] 名 自動運転の状態 自動運転装置 サービネの状態 サービネの状態 た常運転(Version ■■■■_a) 投入監視要因 投入監視時刻 切断監視時刻 ジ町監視時刻 ジェロの切断監視時刻 投入時シッョ7、起動 OFF 終了時シッョ7、起動 OFF		Ŷ					
ごろの ごろの<	Ĩ	■ (上) 配信テ~5	S)) 2				
OK キャンセル ジャットダ ウン(<u>D</u>))))	7°(<u>H</u>)					

図 5.1-1

(2) 「スケジュール」 画面が表示されますので、 画面内の "通常 09時00分から17時00分まで"(赤枠)を選択し「修正」 ボタンを選択してください。



図 5.1-2

(3) 「スケジュール」画面に戻りますので、(2) で変更した時間が反映されているか確認を行います。 問題なければ、「設定」ボタンを選択して、"②土日祝よ、運用しない。"の設定を行います。

① 「設定」 画面が表示されましたら「祭日休日指定」 タブを選択します。 赤枠内すべてのチェックを有効にします。 ②次に「曜日指定」 タブを選択します。

同じく赤枠内のように、「複数曜日」と「日」、「土」、「運転休止」のチェックを有効にして「OK」ボタンを選択してください。

③「スケジュール」画面に戻りますので、「OK」ボタンを選択してください。

④青枠のようなメッセージ画面が表示されますので、すべて「はい」または「OK」ボタンを選択してください。



図 5.1-3

- (4) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
 - ① 以下のような画面が表示されましたら、「切断要因」 タブ内にある、"基本部"欄の「スケジュール」の チェックを有効にしてください。その後「OK」ボタンを選択してください。
 - ② メッセージ画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。

ESMPRO/AutomaticRunni	ngController	– 🗆 X
設定(<u>C) ヘルブ(H</u>)		
サーN*(S) サーン サーン	 R120B-1 実行中 なし 正常運転(Version ■ a) OFF OFF OFF 	→ UPS
OK	キャンセル ジャットダッウン (<u>D</u>)	^ĵŀ7°(<u>H</u>)
	×	
投入要因 切断要因		
を本部 ▼ スケジュール 「 LAN	LAN切断情報(<u>L</u>)	
- スロット 2		
- 70 yk 3	- 7日ットフ	
未実装:	未実装:	
	קעם אינים	
未実装:	未実装:	
- スロット 5		
木 天 按 :		
○ O R条件 ○ 条件式		
OK ++>	セル ヘルフ [*] (<u>H</u>)	
2		
ESMPRO/AutomaticRunningCo	ontroller	×
切断要因 スケジュールによる切断系 を行います。	⊱件が成立した場合、サーバは直ちにシャットダウン	
	ОК	

図 5.1-4

(5)	以下のような画面に戻りましたら、	「OK」ボタンを選択してください。
-----	------------------	-------------------

ESMPRO/AutomaticRunningController	_		×
設定(<u>C</u>) ヘルブ(<u>H</u>)			
<u>サー</u> ル*(<u>S</u>)		→ UP S	;
サーハ [*] 名 自動運転の状態 自動運転装置 かし サービ [*] スの状態 た常運転(Version ■■_a) 投入監視要因 投入監視時刻 切断監視時刻 切断監視時刻 ジロの切断監視時刻 投入時ジ*37 [*] 起動 OFF 終了時ジ*37 [*] 起動 OFF			~
ごうう ごう ごうう ごう		● ① 配信7 [~]	* 9
OK キャンセル シャットダ゛ウン(<u>D</u>)		∿ル⁊°(<u>H</u>)	

図 5.1-5

以下のようなメッセージ画面が表示されます。

「OK」ボタンを選択すると、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI か終了します。

「キャンセル」ボタンを選択すると、切断監視要因、切断監視時刻、次回の切断監視時刻に、

スケジュール運転静い表示されます。



図 5.1-6

(6) 「スケジュール」ボタンを選択し、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケジュールが登録されていることをご確認ください。



図 5.1-1

連動端末のスケジュール設定

連動が未でスケジュール運転を行うための手順としては、制御端末上のESMPRO/ACGUIにて連動が未へ接続し、直接連動端末のスケジュール運転の設定を行う方法と、制御端末上で設定ファイルを作成し、そのファイルをWindows 連動端末へ送信する二種類の方法があります。以下に手順を記載します。

以下を例こ、スケジュール運転の設定方法を説明します。 ①月曜日から金曜日までは、8時00分に電源投入。17時00分に電源切断。 ②土日祝よ、運用しない。

5.2.1 Windows 連動端末への直接設定

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動。

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] →[AC Management Console]を起動して ください。

起動すると以下のような画面が表示されますので、AC Management Consoleのツリー上で設定を行う対象となるサーバ (以下の画面の場合は、連動端末の R120B-1)を選択し、右クリックメニューの [指定サーバの設定]を選択して、 ESMPRO/AutomaticRunningController GUIを起動してください。



図 5.2-2

(2) スケジュールの設定は「5.1制御端末のスケジュール設定(2)(3)」と同様の方法でスケジュール運転の設定を 行ってください。

- (3) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。
 - ① 以下のような画面が表示されましたら、「切断要因」 タブ内にある、"基本部"欄の「スケジュール」 のチェックを有効にしてください。

その後「OK」ボタンを選択してください。

② メッセージ画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。



(4) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。

SMPRO/AutomaticRunningController – 🗆 🗙							
設定(C) ヘルブ(H)							
<u> </u>	→UPS						
サーバ名 : R11012A 自動運転の状態 :実行中 自動運転装置 :マハチサーバオプション(リモート制御) サービスの状態 :正常運転(Version	~						
ごう ごう ごう 監視要因 スケジ [*] ュール オフ [*] ジョン							
OK キャンセル ジャットダッウン(<u>D</u>)	^ルフ°(<u>H</u>)						

図 5.2-4

以下のような画面が表示されます。

「OK」ボタンを選択すると、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI か終了します。 「キャンセル」ボタンを選択すると、投入監視要因、切断監視要因、投入監視時刻、 切断監視時刻、次回の切断監視時刻に、スケジュール運動計算め、表示されます。



図 5.2-5

(5) 「スケジュール」ボタンを選択し、グラフィック表示やカレンダ表示にて正しくスケジュールが登録されていること をご確認ください。



図 5.2-6

5.2.2 Windows 連載端末へ設定ファイルを送信

<u>注意</u>

本節に記載している設定ファイルの送信方法は、ESMPRO/AC Enterprise クライアントを用いた送信方法になります。 ESMPRO/AC Enterprise クライアントのインストール・アンインストール方法は、ESMPRO/AC Enterprise のセットアップカードを参照してください。

- (1) [マルチサー/ 構成データ編集]の走動
 [スタート]メニュー → [プログラム] → [ESMPRO_AC_E Client] → [マルチサー/ 構成データ編集] を起動してください。
- (2) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI の起動
 - [マルチサーバ構成データ編集]→ [ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動]を選択して、 ESMPRO/AutomaticRunningController GUIを起動してください。

🍠 マルチサーバ構成データ編集	_		\times	
本設定ツールは、ESMPRO/AutomaticRunningControll 編集作業を行うためのツールです。 指定されたフォルダでデータファイルの編集作業を行 データファイルの格納フォルダ	erによる自動 fいます。	運転情報	ಕೆの	
C: ¥Program Files (x86) ¥ESMAC_E_Client ¥DATAFOL	DER 👻	参照	📴 ES	SMPRO/AutomaticRunningController – 🗌 🗙
編集モードで起動			設定((<u>Ω</u> ~ ^µ 7 [°] (<u>H</u>)
AC Management Console簡易設定支援ツー	ル の起動			$\not = \eta - \eta^*(\underline{S})$ \longrightarrow UPS
AC Management Console の起	b			編集モードで動作しています。
ESMPRO/AutomaticRunningController G	JI の起動	\triangleright	•	[現在の編集ファイル名] C:¥Program Files (×86)¥ESMAC_E_Client¥DATAFOLDER ¥AFCUINFO.CFG C:¥Program Files (×86)¥ESMAC E Client¥DATAFOLDER¥CONFIG.CFG
編集データファイルの送信/受信				C:¥Program Files (x86)¥ESMAC_E_Client¥DATAFOLDER ¥SCHEBASE.CFG C:¥Program Files (x86)¥ESMAC_E_Client¥DATAFOLDER ¥SCHEDUE CFC
	°(<u>Н</u>)	終了		C: #Program Files (x86) #ESMAC_E_Client#DATAFOLDER
				ごの ご
				<u>のK</u> <u>キャンセル</u> ジャットダックン(<u>D</u>) ヘルフ [。] (<u>H</u>)

図 5.2-7

(3) スケジュールの設定監視要因の設定の反映

「5.1 制御端末のスケジュール設定(2)(3)0(5)」と同様の方法でスケジュール運転の設定を行ってください。 Windows運動端末側のESMPRO/ARCサービス(ESMPRO/ARC Service)の再起動は不要です。 (4) Windows連動端末へ設定ファイルを送信

設定ファイルの更新が完了したら、以下の操作で設定ファイルをWindows連邦端末へ送信することが可能です。

- データファイルの格納フォルダを指定し、「編集データファイルの送信/受信」を選択してく ださい。
 格納フォルダは、サーバ単位/グループ単位など、再度編集する際に管理しやすいよう任意に作成してください。
- ② [Windowsサーバ] を選択し、「OK」ボタンを選択してください。
- 「データファイルの送信」を選択し、必要なファイルのチェックを有効にして、
 「ファイル転送>Windowsサーバ」ボタンを選択してください。
- ④ 操作の実行確認で「はい」を選択してください。
- ⑤ [サー/ 洛] に設定ファイルを送信したいサー/ のコンピュータ名を入力し、「OK」 ボタンを 選択してください。



図 5.2-8

- (5) サービスの再起動 運動端末のOSのサービス画面からESMPRO/ARCサービス(ESMPRO/ARC Service)を再起動してください。
- (6) Windows連載端末へ送信した設定ファイルの確認方法

「5.2.1 Windows連動端末への直接設定(1)」の手順どおり連動端末のESMPRO/AutomaticRunningController GUI を 起動し、「スケジュール」ボタンを押して設定内容が正しく反映されているかをご確認ください。

く参考>

サーバから設定ファイルのコピー

すでに制御端末またはWindows 連邦端末のスケジュール運動の設定を行っている場合、以下の操作で設定ファイルを受信し、Windows 連邦端末への設定のベースとして利用することが可能です。

①データファイルの格納フォルダを指定し、「編集データファイルの送信/受信」を選択してください。

- ② [Windows サーバ] を選択し、「OK」ボタンを選択してください。
- ③ 「データファイルの受信」を選択し、必要なファイルのチェックを有効にして、 「Windows サーバ>ファイル受信」ボタンを選択してください。
- ④操作の実行確認で「はい」選択してください。
- ⑤ [サーバ名] にスケジュール運動の設定を行ったサーバのコンピュータ名を入力し、「OK」ボタンを選択してください。



図 5.2-9

第6章 ジョブの登録方法

ジョブの登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を行う必要があります。

<u>注意1</u>

・登録されたジョブは、ESMPRO/ARC Service サービス (SYSTEM ユーザ) により実行されます。

・コマンドプロンプト上で実行した際に Yes / No などの入力を促されるコマンドをジョブとして登録した場合、 ジョブが入力待ちの状態となり、正しく実行されないことがあります。あらかじめ入力内容を記載したファイルか ら読み込ませるなどして、入力待ちの状態にならないように工夫願います。

・ジョブ実行に関するお問い合わせの際、ジョブの内容に関してのお問い合わせにはお答えできませんのでご了承願います。

ジョブの登録コよ、以下の3つがあります。 ①電源投入時のジョブ登録 ②電源切断時のジョブ登録 ③電源異常切断時のジョブ登録

なお、ここではジョブの登録方法について説明します。

注意2

製品ライセンス適用が行われていない場合、ジョブ登録こ必要な 「ESMPRO/AutomaticRunningController GUI」は起動できません。



図 6-5.2-1

6.1 制御端末のジョブの設定

制御端末のジョブの登録方法については ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照してください。

6.2 連動端末のジョブの設定

連動端末のジョブの登録方法について記載します。

6.2.1 ジョブ登録画面の起動方法

(1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー →[プログラム] → [ESMPRO_AutomaticRunningController] →[AC Management Console]を起動し てください。

起動すると以下のような画面が表示されますので、AC Management Consoleのツリー上で設定を行う対象となるサーバ (以下の画面の場合は、連動端末の R11012A)を選択し、右クリックメニューの [指定サーバの設定]を選択して、 ESMPRO/AutomaticRunningController GUIを起動してください。

🔒 AC Management Console - ESM	PRO/AC			-		
ファイル(F) 編集(E) 操作(S) 表示()	⁄) ∿⊮7 [°] (H)					
🖬 🕄 🕮 🗇 🏉 🖨 🥔 😭	i ?					
編集モードで動作しています。 現在	の編集ファイル名 🖸	¥Program Files (x86)¥ESMAC_E_Client¥I	DATAFOLDER¥ac_e	e_net.cfg	
⊡ <mark></mark>	名称	IP address	コンセントク ループ	説明	状態	
□ • <mark>•</mark> · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	R110l2A	172.16.1.198		Advanceマルチ	通常運用中	
ADAVANCE構成						
		E	SMPRO/AutomaticRu	unningController		– 🗆 X
R110		設定	(<u>C</u>) ∿⊮7 [°] (<u>H</u>)			
	示の説明		#−)\°(S)			
	- バの設定					
制御端	末からの構成情報取得]	サール。名自新運転の状態	: R110I2A : 実行由		^
			自動運転装置	· 元177 · 711-71-11、71	プション(リモート制御))
			投入監視要因	- 正常理野	(Version Seec _r	n)
			切断監視要因 投入監視時刻			
			切断監視時刻	: : ::		
			投入時2137、起動	OFF		
			終了時ジョブ起動) : OFF		¥
				99	👻 🗄	
			監視要因な	オフ	*ション ハー	トゥェア 配信データ
			or		20-01 D 8-0- (D)) 017°(U)
			40	17.22	277 × 72(<u>D</u>)	

図 6.2-1

(2) 起動すると以下のような画面が表示されますので「オプション」ボタンを押してください。



図 6.2-2

(3) 「ジョブ起動」タブを選択しジョブの登録画面を表示してください。

里携機能Ⅰ 監視パラメータ	連携機能 2 投入/切	自動運 断	転情報 メッセージ 通知	省電力	その他 ジョブ 起動
● 通過20日					
ᄪᇔᇨᆻᆑ	生容録ジョブをも	足動する(1)			
L <u>1227</u>	加投入時のジョブ	起動			1
	€ 起動する()	B) (○ 起動しない(<u>C</u>)	
		動シ ョフ の登進	卖(<u>D</u>)		
電源切断時					
電源切断時———	浸いって おおおす	3(5)			
電源切断時 一 回 切断時に登録	録ジョブを起動す 	ā(<u>S)</u>			
電源切断時 切断時に登録 タイムアクト時間	録ジョブを起動す 別(E) 10	3(S) 一分	起動ジョフ	の登録(]]).	
電源切断時 切断時に登録 タイムアウト時間	録ジョブを起動す 別(E) 10	ō(<u>S</u>) ⊥ 分	起動ジョフ	の登録(<u>1</u>)。	
電源切断時 切断時に登録 タイムアクト時間 □ 電源異常切	録ジョブ を起動す 別(E) 10 断時に登録ジョブ	3(S) 一分 を起動する(<u>V</u>	起動ジョフ D	の登録(①)	
 電源切断時 切断時に登録 タイムアクト時間 電源異常切 タイムアクト時間 	緑ジョブ を起動す 引(E) 10 断時に登録ジョブ 引(<u>U)</u> 1	3(S) 分 を起動する(<u>V</u>	起動ジョフ の 起動ジョフ	の登録(①)。 の登録(E)。	
電源切断時 切断時に登録 タイムアクト時間 □ 電源異常切 タイムアクト時間	録ジョブを起動す 肌(E) 10 断時に登録ジョブ 肌(<u>U)</u> 1	3(S) 一 分 を起動する(<u>V</u> 一 分	起動ジョ7 の 起動ジョ7	の登録(<u>1</u>)。 の登録(<u>E</u>)。	
 記録の「日本の時」 初新時に登録 タイムアクト時間 電源異常切 タイムアクト時間 	禄ジョ7 を起動す 乱(E) 10 断時に登録ジョ7 乱(<u>U</u>) 1	3(S) 一 分 を起動する(V 一 分	起動ジョ7 の 起動ジョ7	の登録(<u>T</u>)。 の登録(<u>E</u>)。	

図 6.2-3

6.2.2 電源投入時のジョブ登録方法

投入条件が成立した後、電源を投入した後に、実行するジョブを登録します。

(1) 画面内の「電源投入時」--「電源投入時に登録ジョブを起動する」をチェックして、「起動ジョブの登録(D)」ボタン を押せる状態にします。

τ ^γ ν _ε ν Χ
連携機能 1 連携機能 2 自動運転情報 省電力 その他 監視パラメータ 投入/切断 メッセージ 通知 ジョブ 起動
電源投入時 「 投入時に登録ジョブを起動する(<u>)</u> ^{マニュアル} 投入時のジョブ起動 (・ 起動する(<u>B</u>) (○ 起動しない(<u>○</u>)
- 電源切断時
タイムアウト時間(E) 10 → 分 起動ジョブの登録(D
■ 電源異常切断時に登録ジョブを起動する(<u>W</u>)
タイムアウト時間(U) 1 → 分 起動ジョブの登録(E)
OK キャンセル ヘルフ [*] (<u>H</u>)

図 6.2-4

(2) 画面内の「電源投入時」 - 「起動ジョブの登録」 ボタンを押して、起動時のジョブ登録画面を表示します。

投入時起動ジョブの登録		×
		変更(<u>C</u>)
		<u>削除(D</u>)
		参照(<u>S</u>)
		追加(<u>A</u>)
OK	<u> </u>	^ルフ°(<u>H</u>)

図 6.2-5

※登録時の注意事項

1. ジョブの起動順よ、画面中段にあるリストボックスに登録された順番に起動し、実行されます。 ただし、実行は並列で実行されます。

<ジョブ登録列> コマンドリスト C:¥JOB1.EXE 1 C:¥WORK¥JOB2.EXE D:¥TEMP¥JOB3.EXE /A/B D:¥USER1¥BACKUP.EXE

上記登録例の場合、JOB1.EXE \rightarrow JOB2.EXE \rightarrow JOB3.EXE \rightarrow BACKUP.EXE の順番に起動され、並列して実行されます。

- 2. 運動端末にジョブを登録する場合、ジョブは運動端末に格納してください。
- 3. 登録するジョブ名およびコマンド名は、ドライブ名を含めたフルパスで指定してください。
- 4. コマンドパラメータが必要な場合は、画面下段にあるテキストボックスで、直接入力してください。
- 5. 登録できるジョブ数よ 最大99個です。
- 6. 登録するジョブが複数ある場合は、(4)から(6)の手順を繰り返し実行してください。
- (3) 画面下段にあるテキストボックスに直接入力をします。

-
1

図 6.2-6

※「参照」ボタンを押して、「ファイルの参照」ダイアログボックスを表示した場合、この時表示されるのは制御端末 (ESMPRO/AutomaticRunningController GUI か動作しているサーバ)のフォルダやファイルとなります。 そのため、登録するジョブのコマンド名は手入力にて、連動端末に格納したジョブのドライブ名を含めたフルパスで 指定してください。

(4) 画面下段にあるテキストボックスに表示されたジョブ名にコマンドパラメータの指定が必要であれば、直接入力して ください。

投入時起動ジョブの登録			×
			変更(<u>C</u>)
			削除(<u>D</u>)
			≶照(<u>S</u>)
C:¥JOB1.EXE 1			追加(<u>A</u>)
OK	和地	^⊮7°((<u>H</u>)

例) コマンドパラメータとして1を入力した場合

図 6.2-7

(5) 「追加」ボタンを押して、実行するジョブのリストに追加します。

投入時起動ジョブの登録	×	投入時起動ジョブ	の登録	×
	変更(<u>C</u>)	C:¥JOB1.EX	Æ 1	変更(<u>C</u>)
	削除(<u>D</u>)	C:¥JOB1.EX	E 1	削除(<u>D</u>)
		<u> </u>		
	参照(<u>S</u>)			参照(<u>S</u>)
C:¥JOB1.EXE 1	[追加(A)]]			追加(<u>A</u>)
0K \$7%U 10%	°(<u>Н</u>)	OK	<u>++>セル</u> <u>^ル</u>	°(<u>Н)</u>

図 6.2-8

(6) 登録するジョブの指定が全部終わりましたら、「OK」ボタンを押して登録します。

投入時起動ジョブの登録	×
	変更(<u>C</u>)
C:¥JOB1.EXE 1 C:¥WORK¥JOB2.EXE D:¥TEMP¥JOB3.EXE /A /B D:¥ISFI¥BACKUP FXF	削除(<u>D</u>)
D'TOSENTENOROL LAL	
	参照(<u>S</u>)
	追加(<u>A</u>)
OK ++>セル ^ル	7° (<u>H</u>)

図 6.2-9

6.2.3 電源切断時のジョブ登録方法

切断条件が成立した後、電源を切断する前に、実行するジョブを登録します。 電源切断時のジョブ登録コは、以下の2つがあります。

- 1. 切断時に登録ジョブを起動する場合
- 2. 電源異常切断時に登録ジョブを起動する場合
- 62.3.1 切断時に登録ジョブを起動するジョブの登録方法

スケジュール運転や AC Management Console からのシャットダウン等、電源異常ではない場合のシャットダウン が開始する前に、登録ジョブが活動します。

(1) 画面内の「電源切断時」--「切断時に登録ジョブを起動する」をチェックして、「起動ジョブの登録(T)」ボタンを押 せる状態にします。

£1病\就能↓	連携機能 2	自動運転情報	省電力	- 2 01
監視パラメータ	投入/切断	メッセージ	通知	ジョブ 起動
電源投入時———				
□ 投入開	記登録ジョブを起動?	する(<u>J)</u>		
L_3=5	₩投入時のジョブ起動	h		7
	⑥ 起動する(B)	○ 起動し	ない(<u>C</u>)	
			1	
	起動? :	37 の登録(<u>D</u>)		
電源切断時				
	ヨン/ プ たまごまます ろ(の)			
▶ 例即时に豆=	*/ 3/ を起動りつ(3)			
:イムアウト時間	J(<u>F</u>) 10 ·	分起動	ジョブの登録(<u>T</u>)	
┌── 電源異常切	断時に登録ジョブを起	!動する(<u>W</u>) ―――		
なんしアムに見て	I(U) 1	分起動	ジョブの登録(E)	
7 160 7 DIGTIE				
7 TRU 7 TRUTE				
71RJ 71RTIE				

図 6.2-10

(2) 画面内の「電源切断時」--「起動ジョブの登録T)」ボタンを押して、切断時起動ジョブの登録画面を表示します。

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更(<u>C</u>)
	削除(<u>D</u>)
	<u>参照(S</u>)
	追加(<u>A</u>)
OK (추구)전체 ^세	ל [°] (<u>H</u>)

図 6.2-11

※登録時の注意事項

- 1. ジョブの起動順よ、画面中段にあるリストボックスに登録された順番に起動し、実行されます。 <電源切断時のジョブ登録例> コマンドリスト

上記登録列の場合、QUICKJOB.EXE を実行します。

- 2. 連動端末にジョブを登録する場合、ジョブは連動端末に格納してください。
- 3. 登録するジョブ名およびコマンド名は、ドライブ名を含めたフルルペスで指定してください。
- 4. コマンドパラメータが必要な場合は、画面下段にあるテキストボックスで、直接入力してください。
- 5. 登録できるジョブ数よ、最大99個です。
- 6. 登録するジョブが複数ある場合は、(4)から(6)の手順を繰り返し実行してください。
- (3) 画面下段にあるテキストボックスに直接入力をします。

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更(<u>C</u>)
	削除(<u>D</u>)
	参照(S)
C:¥QUICKJOB.EXE	追加(<u>A</u>)
0K \$77211	7°(<u>H</u>)

図 6.2-12

※「参照」ボタンを押して、「ファイルの参照」ダイアログボックスを表示した場合、この時表示されるのは制御端末 (ESMPRO/AutomaticRunningController GUI か動作しているサーバ)のフォルダやファイルとなります。 そのため、登録するジョブのコマンド名は手入力にて、連動端末に格納したジョブのドライブ名を含めたフルパスで 指定してください。 (4) 画面下段にあるテキストボックスに表示されたジョブ名にコマンドパラメータの指定が必要であれば、直接入力して ください。

例 コマンドパラメータとして1を入力した場合

切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更(<u>C</u>)
	削除(<u>D</u>)
	<u> 金</u> 昭 (a)
	≫照(2)
C:¥QUICKJOB.EXE 1	追加(<u>A</u>)
OK \$777011	7°(<u>H</u>)

図 6.2-13

(5) 「追加」ボタンを押して、実行するジョブのリストに追加します。

切断時起動ジョブの登録	×	切断時起動ジョブの登録	×
通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。		通常の自動シャットダウン時に起動されるジョブ を登録して下さい。	
	変更(<u>C</u>)		変更(<u>C</u>)
	削除(<u>D</u>)	01: C:¥QUICKJOB.EXE 1	削除(<u>D</u>)
	40 DT (20)		6 m (a) 1
	<u>参照(S</u>)		参照 (<u>S</u>)
C:¥QUICKJOB.EXE 1	[追加(A)]]		追加(<u>A</u>)
OK キャンセル ヘル)	7°(<u>H</u>)	OK キャンセル ヘルフ°	(<u>H</u>)

図 6.2-14

(6) 登録するジョブの指定が全部終わりましたら、「OK」ボタンを押して登録します。

×
_ 変更(<u>C</u>)
削除(<u>D</u>)
参照(<u>S</u>)
追加(<u>A</u>)
7° (<u>H</u>)

図 6.2-15

(7) 画面内の「電源切断時」ー「タイムアウト時間(F)」の設定を行います。 設定範囲は、1分~255分となります。 このタイムアウト時間以内に登録されたジョブが完了しない場合は、その時点でサーバのシャットダウン処理に移行して、いういかがいたで、しサーバが引くいたす。



図 6.2-16

6.2.4 ジョブ登録の保存

(1) 「6.2.3 電源切断時のジョブ登録方法」にて登録された内容を保存するには、オプション画面の下段にある「OK」 ボタンを押してください。

連携機能1 連携 監視バラメータ	機能 2 自動運 投入/切断	転情報 省電力 メッセージ 通知	その他 ジョブ 起動
- 電源投入時	きょう ちょうチャナ ちょう		
▼ 投入時に豆都 マニュアル投入 (●	☆ ョン を起動する(<u>)</u> 時のジョブ起動──── 起動する(<u>B</u>) (○ 起動しない(Ω)	
	起動ジョブの登録	录(<u>D</u>)	
「電源切断時」 「▼ 切断時に登録ジョ7	を起動する(<u>S</u>)		
タイムアウト時間(<u>F</u>)	10 - 分	起動ジョブの登録(<u>T</u>	
۶イムアウト時間(E) □ 電源異常切断時に	10 · 分 登録ジョブを起動する(<u>V</u>	起動ジョブの登録(<u>T</u>	
\$4479ト時間(E) ■ 電源異常切断時に \$4479ト時間(<u>U</u>)	10 ・ 分 登録ジョブを起動する(<u>V</u> 1 ・ 分	起動ジョブの登録(1 の 起動ジョブの登録(E	
\$447ウト時間(E) ■ 電源異常切断時に \$447ウト時間(U) OK	10 ・ 分 登録ジョブを起動する(⊻ 1 ・ 分 +ャンセル	起動ジョブの登録([) の 起動ジョブの登録(<u>E</u>	····

図 6.2-17

第7章 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

・ESMPRO/AutomaticRunningController ログ

・イベントログ

・バージョン情報

(以上の採取方法につきましては、「ESMPRO/AutomaticRunningController セットアップカード」をご参照 ください。)

7.1 マルチサーバ構成でのログ採取方法



システムの構成が、マルチサーバ構成の場合、次のような方法でログを採取してください。



<例:上図のようなマルチサーバ構成の場合>

(1) 制御沫

すべての制御端末(この例の場合、制御端末A、制御端末Bの両方)でESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照して必要なログを採取してください。また、その他に下記ログの採取もお願いいたします。

(2) 連動誌 (Windows サーバ)

制御端末および、管理GUIのインストールされているコンピュータのESMPRO/AutomaticRunningControllerGUIを使用し、 下記手順で、連動端末A、B、Cそれぞれのログを採取してください。

<例:制御端末Aから連載端末Aのログを採取する場合>

①制御端末のESMPRO/AutomaticRunningControllerメインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ能定ダイアログが表示されます。

サーハ	指定	×
Г		1
	サーバ名 ▼	
	□ 停止中の指定サーバを、リモート起動する	
[OK キャンセル ヘルフ°(<u>H</u>)	

図 7.1-2

②サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、連動端末Aのサーバ名を入力し、OK ボタンを選択して、連動端末Aに 接続します。

例: 連続末のサー/ 名が、「R120B-1」 の場合、 上記サー/ 指定で R120B-1

と入力します。接続しましたら下記のように表示されます。



図 7.1-3

③もう一度、サーバボタンを選択し、サーバ指定ダイアログを表示させます。サーバ指定ダイアログのサーバ名のところ に、

ESM/PC MAINTE

と入力し、「OK」ボタンを選択します。

サーバ指	定					\times
						7
	サーバ名	ESM/PC	MAINTE		•	
	□ 停止	中の指定。	サーバを、	リモー	ト起動する	
	OK		キャンセル		∧ルכי(<u>H</u>)	1

図 7.1-4

④「ログセーブ開始」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。

メンラ	ליל	X
	ログ情報採取	ロク [*] セーブ開始(<u>S</u>)
	OK	<u>₹₹</u> 72€1

図 7.1-5

ログ翔功終了すると、以下のダイアログが表示されます。

ログ採取正常終了メッセージ

ESMPRO/AutomaticRunningController	\times
すべてのログ情報を C:¥Program Files (x86)¥AUTORC¥DATA¥LOG ィレクトリに セーブしました。	Ť
OK	

図 7.1-6

ログ採取正常終了のメッセージです。⑤の作業を実行してください。

ログ採取異常終了メッセージ

ESMPRO/	AutomaticRunningController	×
8	C:¥Program Files (x86)¥AUTORC¥DATA¥LOG ディレクトリにログ情報 ファイルが存在しています。すべてのログ情報ファイルを待避してから再度実 行して下さい。	
	OK]

図 7.1-7

上記のエラーメッセージが表示された場合、既こログファイルが存在することが考えられます。ログ採取に失敗した た連動端末の ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATAALOG を確認します。 ディレクトリにログファイルが存在する場合は、ファイルを退避するか削除して、操作をやり直してください。

⑤制御端末のエクスプローラを実行して、ログ情報を採取してください。

🚽 🛃 🗖 🚽 arcdata						_		×
プァイル ホーム 共有 オーム 大 大 エーム 共有 プイック アクセ コピー 貼り付け スにピン留め	表示	▲ □□ 移動先 □ピ _ー 先	× 前 の 変更	● [□] 新しい フォルダー	レン プロパティ 日報 第		すべて道 選択解 選択の	へ ? 罌択 『除 切り替え
クリップ	ボード	整	理	新規	開く		選拔	R
← → · · ↑	ットワーク > R110l2A > arco	data >			`	ە ت v	rcdata0,	م
	名前		更新日時	種类	<u></u>	サイズ		^
> 🖈 9199 7922	BAKDATA		2019/04/0	4 16:08 ファ·	イル フォルダー			
> 💻 PC	LOG		2019/04/0	5 9:46 77 [.]	イル フォルダー			
🗸 🛁 ኡットワーク	RCVDATA		2019/04/0	5 9:42 77 [.]	イル フォルダー			
	ac_e_net.apc		2019/04/0	5 8:43 AP	こ ファイル		3 KB	
✓ ■ R110IZA	🔊 ac_e_net.ini		2019/04/0	4 16:41 構成	成設定		3 KB	
🗸 🦞 arcdata	ac_e_net_d.apc		2019/04/0	5 8:43 AP	こ ファイル		2 KB	
BAKDATA	ACELOCK.DAT		2019/04/0	5 9:42 DA	T ファイル		0 KB	
C> LOG	ACGUI.LOG		2019/04/0	5 10:21 テキ	ストドキュメント		18 KB	
RCVDATA	📋 acslave.lic		2019/04/0	5 8:43 LIC	ファイル		1 KB	
	APCUINF2.DAT		2019/04/0	5 9:39 DA	T ファイル		1 KB	
	APCUINFO.DAT		2019/04/0	5 9:39 DA	エファイル		1 KB	
ESMPRO/AC GUIでR	120B-1に接続して	LOG	フォルダ下に必	凄な静め物	諏されます		1 KB	
いる間は、R120B-1のA	RCDATA をネット	ので、	LOG フォルタ	ごとFD 等の	媒体に採取		1 KB	
ワークドライブとして接	続しています。	してく	ださい。				1 KB	~
		L						:== E

図 7.1-8

※LOG フォルダ下に採取されるファイルは、採取するタイミング/状態によって異なります。

(スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが 大きくなります。)

サービスおよびGUIの動作不良のため上記操作でログ採取ができない場合は、以下の方法で採取をお願いいたします。
① エクスプローラ等を使用してください。

②連動端末のESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥DATA ディレクトリ下のすべての ファイルを採取してください。

※ネットワークが不調な場合などは、連動端末のエクスプローラを使用して直接深取することもできます。

第8章 注意事項

8.1 セットアップ関連

・ESMPRO/AutomaticRunningController と ESMPRO/AC Advance をインストールする場合、インストール するソフトウェアのバージョンは必ず両方とも「Ver5.5」の製品をインストールしてください。

8.2 運用時における注意

・AC Advance 製品では、サーバに備わっている物理がなMAC アドレスに対して Wake On LAN パケットを送信することにより、サーバの起動を行います。

この際、制御端末から連動端末への Wake On LAN パケットは、ブロードキャスト・アドレス宛に送信されます。このため、制御端末の監視対象となる連動端末は、制御端末と同じネットワークセグメントで構築されている必要があります。

また、AFT(アダプタ・フォールト・トレラント)のチーミング設定などのネットワーク冗長構成を行ったネット ワークデバイスに、ユニークなMAC アドレスを割り当てた運用を行うシステムに対しては、Wake On LAN 運用 ができません。チーミングを構成する、いずれか1つの物理がなMAC アドレスをチーミングしたネットワークデ バイスのMAC アドレスとして設定、運用してください。

・ESMPRO/AC Advance をインストールした環境でスケジュール連定を行う場合の注意

制御端末自身へは電源ON制御め必要となる停止期間を持つスケジュール設定(電源OFF からON までの間隔が 2分間以上空いている設定)は行わないでください。

これは、制御端末が自サーバの ON 制御を行うことができないためです。ただし、電源 ON 制御め必要でない リブートを行うスケジュール設定(電源 OFF から ON までの時間が 1 分間に設定)は可能です。制御端末のリ ブートに掛かる時間中は連動端末に対する電源制御が行えませんので、制御端末のリブート時刻と連動端末の ON/OFF 時刻が重複しないように設定してください。

その他の運動満れに対しては各サーバで独立したスケジュールで運用可能です。

<設定例>



図 8.2-1

第9章 用語集

No	用語	説明
1	ESMPRO Platform Management Kit	ESMPROの各種ソフトウェアを格納したソフトウェアパッケージ。
2	ESMPRO/AutomaticRunningController	無停電電源装置(UPS)を使用したサーバの自動電源計准機能を提供するソ
3	ESIVIPRO/AC Enterprise	SNMP カート付き無停電電源装置(UPS)と接続した複数のサーハや共有
		ティスクの電源管理機能を提供するソフトウェア。本ソフトウェアは
		TESMPRO/AutomaticRunningController」のオフションハッケーシ。
4	ESMPRO/AC Advance	無停電電源装置(UPS)を接続しない複数のサーバの自動 弾武幾能を提供す
		るソフトウェア。本ソフトウェアは
		「ESMPRO/AutomaticRunningController」のオプションパッケージ。
5	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	「ESMPRO/AC Advance」サーバ管理機能のオプションパッケージ。
6	ESMPRO/AC Enterprise(クライアント)	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
7	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプ	「ESMPRO/AC Enterprise」サーバ管理機能のオプションパッケージ。
	ション	
8	ESMPRO/AC MSCS オプション	WSFC(Windows Server Failover Cluster)またはMSCS(Microsoft Cluster
		Service)によるクラスタ環境の電源管理機能を提供するソフトウェア。本
		ソフトウェアは「ESMPRO/AutomaticRunningController」+
		「ESMPRO/AC Enterprise」環境のオプションパッケージ。
9	ESMPRO/ServerManager	ネットワーク上のサーバを管理・監視するサーバ管理ソフトウェア。
10	ESMPRO Extension for Windows Admin	Windows Admin Center に対して Express5800 サーバのハードウェア情
	Center	報を表示するためのプラグイン。
11	ESMPRO/ServerAgent	ESMPRO/ServerManager と連携し、サーバの監視および各種情報を取
		得するためのソフトウェア。
12	ESMPRO/ServerAgentService	ESMPRO/ServerAgentの後継ソフトウェア。
13	ExpressUpdate Agent	管理対象サーバにてファームウェア、ソフトウェアなどのモジュールを
		ESMPRO/ServerManagerによってリモートから更新することを可能と
		するソフトウェア。
14	WebSAM iStorageManager	ストレージリソースを効率的に一元管理し、構成表示、状態監視、障害
		通知を行うソフトウェア。
15	Windows Admin Center	Microsoftか提供するWeb ブラウザベースのサーバ管理ソフトウェア。
16	BMC	Baseboard Management Controller
		システムの状態やのSに依存することなく、ハードウェアの状態・異常
		を監視できる Embedded controller。
17	EXPRESSSCOPE エンジン	BMC を用いて実現している NEC 製管理用コントローラ。
18	BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)	EXPRESSSCOPE エンジン3 搭載の装置
19	BMC (その他)	以下以外の装置。
		・BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)
		·LO
		• vPro
20	iLO	Integrated Lights-Out
		標準インターフェース仕様のIPMI2.0に準拠してハードウェアを監視す
		るコントローラ。
21	vPro	インテルの企業向けプラットフォーム・ブランド(Intel® vPro [™] テクノロ
		ジ)。
22	IAMT	
		vProを構成する主要機能の1つで、リモート管理をコントロールする技

		術。
23	SOL	Serial Over LAN
		Serial に出力されるデータをBMC がUDP Packet 化して LAN 経由で送
		信する機能。
24	WS-Man	Web Service Management
		IT システム全体の管理情報にアクセスするための共通手段を提供する技
05		
25	クラシックモード	ESMPRO/ServerManager Ver.7.12から起動する
26	– > _#> > _L	サー/ VIEH相同版表示(JESIVIPRO/Servenvianager の現現設定を行う。
20		ESIVIPRO/Servenvial age 工 C官理9 公表目。
27	システム管理	ESMPRO/ServerManagerでSNMP (ESMPRO/ServerAgent)/WS-Man を使用してコンポーネントを管理すること
28	ダッシュボード	さまざまなコンポーネントの状態や活動を統合して表示する管理画
20		していていていていていたので、「「「「「「」」」」では、「「」」」」」」
29	ライセンスキー	ESMPROのソフトウェアのライセンスを登録するためのキー。
30	インポート	ESMPRO インストールツールのライセンス・バージョン管理において
		ライセンスキーをソフトウェアに送信し、ライセンスを登録すること。
31	エクスポート	ESMPRO インストールツールのライセンス・バージョン管理において
		ソフトウェアに登録されたライセンスキーを取得すること。
32	WebSAM AlertiManager	ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、
		ESMPRO/ServerAgentなどの関連製品の通報機能を拡張するソフトウェ
33	iStorage (M シリーズ)	ESMPRO/ServerManagerからiStorageの監視をするために必要な重携
24	ESMPRO/ServenVianager 理携モンユール	ソノトワエア。
- 34	[よどの(設定]	ESMPRO/ServerManagerが管理しているコンポーネントの一括設定お
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報設定。
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通難協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報限定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通幹感没定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報限定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - thkt機能 ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡展機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通幹協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報限定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視段 完
		よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通幹感没定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視段 定。
		よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報感定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows)
		よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通難協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows)
25		よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通軸感定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。
35	拡張機能	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux)
35	拉張教維	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通難協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Uindows) - ESMPRO/ServerAgentService(Uindows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerManager では、拡張機能として以下の機能を提供。 ・イベントトリガーアクション
35	拉眼鏡	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置 (UPS) の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) - ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Undows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。
35	拉張機能	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他牡撈版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視段 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視段 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。
35	拉品教教能	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行ったExpress サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報協定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視度 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Unux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerManager では、拡張機能として以下の機能を提供。 ・イベントトリガーアクション ・[まとめて設定] 拡張機能を使用するには、ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネー ジャライセンスおよび、管理対象機器台数に応じて ESMPRO/ServerManager 拡張機能としてレス方必要。
35	拉碌機能	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報限定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を行きとめて設定した記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を行きとめて設定した記載。 ESMPRO/ServerManager では、拡張機能として以下の機能を提供。 ・イベントトリガーアクション ・[まとめて設定] 拡張機能を使用するには、ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネー ジャライセンスおよび、管理対象機器台数1応じて ESMPRO/ServerManager 拡張機能ノードライセンスが必要。 詳細ま「ESMPRO/ServerManager 拡張機能ノードライセンスが必要。
35	拉張機能	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通難限定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - 他牡機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視度 定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Undows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を信まとめて設定した記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を信まとめて設定した記載。 - イベントトリガーアクション ・ [まとめて設定] 拡張機能を使用するには、ESMPRO/ServerManager 拡張機能 マネー ジャライセンスおよび、管理対象機器台数に応じて ESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンスが必要。 詳細は TESMPRO/ServerManager 拡張機能 ノードライセンスが必要。 詳細は TESMPRO/ServerManager ビストレーションガイド (Windows)」を参照してください。
35	拉融離	よび設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行ったExpress サーバと 無停電電源装置(UPS)の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の)) 毎日の/ServerAgent(Windows) ・ESMPRO/ServerAgentService(Windows) ・ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) ・ESMPRO/ServerAgentfor GuestOS(Windows) ・他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設 定。 ・ESMPRO/ServerAgentService(Windows) ・ESMPRO/ServerAgentService(Undows) ・ESMPRO/ServerAgentService(Undows) ・ESMPRO/ServerAgentService(Undows) ・ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。 ESMPRO/ServerManager では、拡張機能として以下の機能を提供。 ・イベントトリガーアクション ・[まとめて設定] 拡張機能を使用するには、ESMPRO/ServerManager 拡張機能をマネージャライセンスおよび、管理対象機器台数に応じて ESMPRO/ServerManager 拡張機能とノードライセンスが必要。 詳細は「ESMPRO/ServerManager 拡張機能とノードライセンスが必要。 詳細は「ESMPRO/ServerManager 拡張機能とノードライセンスが必要。 詳細は「ESMPRO/ServerManager 拡張機能とノードライセンスが必要。

37	イベントトリガーアクション	ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを契機に、指定するアク
		ションを実行する拡張機能。
		指定可能なアクションは以下のとおり。
		・メール通報
		・ Microsoft Teams 通報

表 9-1